



毎年七月に開催されている「名寄市小中学校いじめ防止サミット」に生徒会役員等が参加し、生徒によるいじめの根絶に向けた自主的な活動の活性化を図っています。今年度からは、市内二校の高校生もサミットに参加する予定で、連携が深まることを期待しています。（名寄市立風連中学校）

No. 126 (平成 29 年 7 月 3 日)

おもな内容

	ページ
随 想	1
研修講座寸描	2・3
夏季研修講座一覧	3
研究室だより	4
研究協力校の紹介	5
教育講演会・Webサイト紹介	6
受講後アンケートの結果・出前講座の紹介	7
心に残る授業 その四・人事短信	8

随 想

懐かしさと不安の間で



上川教育研修センター

所 長 奥 山 ゆみ子

生まれて此の方、どれだけ多くの人達との出会いと別れを繰り返してきたのか、私は折りに触れて思い出す人がいます。

小学一年、二年と担任をしてくれた先生のこと。

子ども心に、お兄さんというよりは少し年上の若いお父さんという印象が残っています。いつも穏やかで、優しく丁寧に接してくれる先生のことがみんなは大好きでした。先生が教科書ではない「本」を持って教室に入ってくると、胸がわくわくしたものです。お話の登場人物になりきって読んでくれるのがとても上手で、今か今かと待っていたのを覚えています。学校へ行くのが楽しみでした。

中学二年の時、新採用の女性の先生がやって来ました。専門の国語以外に家庭科も体育も担当して、大変御苦労だったろうなと今だから思えます。その先生は、私が中学三年の時、『風と共に去りぬ』の上巻、下巻を「これ読んでみない？」と言って手渡してくれました。もう嬉しくて、食事や睡眠の時間さえもどかしく、数日で読み終えました。読後は、それまでの短い人生において、世界観や人生観ががらりと変わるような感覚がありました。

高校三年の時、父の転勤のために、い

いやや転校しました。進路に悩み、好きな音楽を勉強したいと相談にのってくれた当時の音楽の先生は、「それは大変！時間が無いよ！」とばかりに、しばらく止めていたピアノを、受験に間に合うようにと、休日も返上でレッスンしてくれました。腰にまとわりつく幼い我が子を諭しながら、聴音や声楽、楽典の指導までも熱心にしていただいたことを決して忘れません。

社会人となり、教師として悩み、壁に突き当たることが多かった私の、今となつては、忘れられない、常に心している言葉があります。それは先輩教師の「子どもたちに」言っていることを、（あなたは）やっているのか？」です。

ドキッしました。その先生は自らにも厳しく、しかし愛情をもって日々の教育を実践している人でした。

この人達のことを思い浮かべる時、ふつと「二〇四五年問題」が頭をよぎります。いつたいどんな時代が来るというのか？「予測不能」とか「シンギュラリティ」だとか、知識の不足している私には不安と恐怖、怒りさえ込み上げてくる言葉ですが、人間の尊厳はどこへ？

「AIなんぞに絶対できないことがある！人間にしかできないことが！」と、思いたい自分がいるのです。

朝日小学校では、主体的に考え、ともに学び合う子どもの育成を目指し、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業に取り組んでいます。（旭川市立朝日小学校）



センター日誌

4月1日	新任所員就任
4月13日	研修講座講師委嘱状交付式
4月14日	講座内容研究協議会
4月27日	講座受講申込一次締め切り
5月9日	パソコン講座運営委員会 研修講座開始 (いじめ・不登校)
6月12日	パソコン講座開始 (タブレットPC入門)
7月3日	センターだより第126号発行
※ 毎週火曜日	定例研究室会議
※ 随時	研修講座講師打合せ会議

研修講座 寸描 その1

委嘱状交付式、 講座内容研究協議会



四月十三日、三十六講座の講師八十五名にお集まりいただき、今年度の研修講座の講師委嘱状交付式及び講座内容研究協議会を開催しました。

上川教育局、旭川市教育委員会の方々
が列席される中、講師を代表して澤井陽一
鷹栖小学校長がセンター組合赤岡昌弘
教育長から、講師委嘱状を受け取りまし
た。

その後の講座内容研究協議会では、教
職員等の資質能力の総合的な向上を目指
して、各講座の講師と運営者が意見を
出し合い、講座の内容や日程等について話
合いを行いました。

五月九日の「いじめ・不登校」研修講
座を皮切りに、今年度の研修講座がス
ートしています。

講座の様子から

不登校を抱える子どもの心理や自立に
向けた経過について、実例を交えながら
丁寧に説明していただきました。「子ど
もとの関わり方」「心に響く伝え方」は、
不登校を抱える子のみならず、多くの児
童・生徒と向き合う指針となりました。

(旭川市立愛宕小学校 中谷 隆)



1 いじめ・不登校 5/9

井上 重美 (公立学校SC)
松田 剛 (臨床心理士)

講師

2 特別支援教育 5/10

講師

深町

友祐

北海道立特別支援
教育センター教育課

聴覚言語障害の教室 研究員

中川

隆

日章小 教諭

黒滝

裕子

北鎮小 教諭

五十嵐

亨

愛宕中 教諭

特別支援教育の動向から障がい
の特性に応じた工夫まで、わかりやすく御講義
いただきました。また、同じような悩み
を抱える先生方と交流し、意見交換させ
ていただき、新たな視点をもつこともで
きました。ありがとうございました。

(音威子府村立音威子府小学校

大竹 美里)



3 学級経営 5/11

中筋 一之(神居東中 教頭)
 中村 正樹(愛宕東小 教諭)
 宇野 弘恵(啓明小 教諭)
 柳澤 麻弥(愛宕中 教諭)

講師



学級経営について、明日から実践できる内容ばかりで、大変有意義な時間となりました。特に「リアルタイムで褒める」というお話に深く共感し、自校に戻って早速実践したいと思います。本当にありがとうございました。

(南富良野町立南富良野中学校)

荒川 航助

●●● 長期休業を利用して研修を深めませんか? ●●●

夏季休業中及び夏季休業直後の研修講座申込みを随時受け付けております。

受講を希望される場合は、研修センターへ FAX (0166-24-2512) でお申込みください。

開催期日	研修講座名	会場	備考
7月27日(木)	国語科指導①	研修センター	2日目 9月5日(火)
7月27日(木)	幼小連携教育	研修センター	
7月28日(金)	算数・数学科指導①	研修センター	2日目 8月31日(木)
7月28日(金)	外国語科(英語)指導①	研修センター	2日目 9月4日(月)
7月31日(月)	表計算入門(個別)	研修センター	パソコン講座
8月1日(火)	生徒指導①	研修センター	2日目 9月6日(水)
8月1日(火)	表計算活用①	研修センター	パソコン講座
8月1・2日(火・水)	学校事務実務	研修センター	2日間日程
8月2日(水)	理科指導①	研修センター	2日目 8月29日(火)
8月2日(水)	タブレットPC入門②	研修センター	パソコン講座
8月3日(木)	道德教育①	研修センター	2日目 8月29日(火)
8月3日(木)	社会科指導①	研修センター	2日目 10月6日(金)
8月4日(金)	学校力向上対策	研修センター	
8月4日(金)	生活科・総合的な学習の時間①	研修センター	2日目 10月12日(木)
8月4日(金)	ミニ道研A	旭川東高等学校	道研遠隔研修
8月8日(火)	教育講演会	大雪クリスタルホール	本紙6ページ参照
8月9日(水)	タブレットPC活用①	研修センター	パソコン講座
8月10日(木)	ミニ道研B	旭川東高等学校	道研遠隔研修

～夏季休業終了直後に開催予定の研修講座～

8月23日(水)	I C T活用	末広小	今年度は小学校の授業公開
8月23日(水)	技術・家庭科実技	東明中	今年度は中学校の授業公開
8月24日(木)	学級活動	近文小	今年度は小学校の授業公開
8月29日(火)	理科指導②	朝日小/光陽中	
8月29日(火)	道德教育②	東栄小/旭川第2中	
8月31日(木)	算数・数学科指導②	春光小/永山南中	
9月4日(月)	外国語科(英語)指導②	東陽中/啓明小	
9月5日(火)	国語科指導②	春光小/東光中	
9月6日(水)	生徒指導②	広陵中/共栄小	
9月6日(水)	体育科実技	向陵小	今年度は小学校の授業公開
9月7日(木)	音楽科実技	永山小	今年度は小学校の授業公開
9月8日(金)	プレゼンテーション	研修センター	パソコン講座

今，研究室では…

上川教育研修センター 第17次研究スタート

本年度より，上川教育研修センター第17次研究がスタートしました。第16次研究の成果を生かしながら，新学習指導要領を視野に入れ，「深い学びを実現する学習指導の在り方」について研究を行います。皆様から多くの御意見をいただきながら研究を進めてまいります。6月と9月には研究員，9～11月には研究協力校3校による授業実践を行います。各校に御案内させていただきますので，多くの皆様の御参観をよろしくお願いいたします。

研 究 主 題

深い学びを実現する学習指導の在り方

～各教科における主体的・対話的な学びを通して～

求める児童生徒像

各教科等において生きて働く「知識・技能」を習得し，未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を高めながら，「主体的に学習に取り組む態度」を身に付けた児童生徒

研 究 の 仮 説

目標と手立てが合致した単元の指導計画及び具体的な子どもの姿を見取る評価計画を作成するとともに，自己の学習を見通し振り返る主体的な学びと，授業の本質に迫る対話的な学びを重視した本時の授業展開を工夫することにより，児童生徒の深い学びを保障できるであろう。

研 究 内 容

【研究内容1】

単元の指導計画・評価計画の作成

(1) 指導計画

- ①指導内容の分析
 - ・学習指導要領
 - ・指導事項の吟味
(系統・教科の特性・教育資源等)
- ②目標の明確化
 - ・目標と手立て(課題・まとめ等)の整合

(2) 評価計画

- ①評価規準の設定
 - ・記録に残す評価
 - ・指導に生かす評価
- ②見取りの具体化
 - ・場面と方法
 - ・具体的な子どもの姿

【研究内容2】

本時の授業展開の工夫

(1) 主体的な学び

- ①見通し
 - ・学習課題の提示
 - ・課題解決の方法や手順
- ②振り返り
 - ・学びの成果
 - ・解決の過程

(2) 対話的な学び

- ①思考を広げる対話
 - ・論点の明確化
 - ・互いの考えの見える化
- ②確かな学びに向かう対話
 - ・教科の特性に応じたまとめ
 - ・思考の活性化

学びの基盤

支持的風土の醸成

教室環境の整備

学習規律の確立

平成29年度「研究協力校の紹介」

旭川市立西御料地小学校

（研究主題）

「進んで 伝え合い 学びあう 子どもの育成」
「確かな 話す力、聞く力の育成&思考力・
判断力の向上を目指す指導（国語科・算数科）」

一 研究の重点

考えを広げ、深められる子を目指して、教材の工夫や児童同士の学びあう場面の設定を通して、思考・判断する場の構成と工夫により児童の育成を図る。

二 研究の内容

① 思考の種類を明確にし、教材の特性にマッチさせる工夫

・ 解決すべき事象や教材にマッチした思考場面や思考の補助となる教材の工夫
・ 判断するのに用いる資料や材料の提示や選択性の工夫
・ 他の考えや判断材料等を比較、同定などするスキルの指導

② 子どもにとって学び合う楽しみがある場面の工夫
・ いくつかの考えを融合したり、仲間分けしたりする場の工夫 等

三 研究の計画

4・5月 研究内容・計画の共通理解
6・7月 ブロック研 指導案検討 校内授業
8・9月 ブロック研及び全校研 指導案検討・事後研究協議
10月 全校研 事後研究協議・各ブロックのまとめ
11・12月 全校研 事後研究協議・まとめ
成果と課題 次年度の方角性について



東川町立東川小学校

（研究主題）

「場面に応じて適切に思いを伝え合う子どもの育成」
「生きたコミュニケーション力の育成を目指す指導について」

一 研究の重点

外国語活動を通して、交流場面における学習形態の工夫、必然性のある課題、問題の設定、話し合いの評価の場の設定により「場面に応じて適切に思いを伝え合う」子どもを育成する。

二 研究の内容

① 必然性のある課題・問題の設定
② 交流場面での学習形態の工夫
③ 話し合いの評価の場の設定

三 研究の計画

4・5月 研究計画の共通理解・実技研修
6・8月 研究内容の共通理解
9・10月 ブロック研（指導案検討）
11月 全校研（指導案検討）
12月 全校研 事後研究協議
成果と課題 次年度の方角性について



旭川市立北門中学校

（研究主題）

「主体的に判断し、正しく行動できる生徒の育成」
「すべての教科・道徳の授業を通して」

一 研究の重点

道徳の時間を軸とし、教育活動全体を通して子どもたちの変容を見つめ、道徳性を高める指導の在り方を研究する。

また、小中連携の視点から、「そろえる活動」をすべての授業で実践し、「見通す」「振り返る」活動により生徒の学力向上を目指す。

二 研究の内容

道徳：考え、議論する道徳の授業づくり及び学習会

学習指導：アクティブラーニングの視点から、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業実践及び授業研究交流

三 研究の計画

5月 研究内容・研究方法・研究計画確認
7・8月 教科部会による研究授業の構想づくり
9月22日 全校授業研（道徳）の指導案検討
10月19日 研修センター研究協力校授業実践
9・12月 教科部会による研究授業
2月 研究のまとめ 次年度に向けて



上川教育研修センター

教育講演会

➤ と き 8月8日(火) 13:30～16:30

(開場 13:30 講演開始 14:00)

➤ ところ 旭川市大雪クリスタルホール 大会議室(旭川市神楽3条7丁目)

演 題

「これからの道德教育」
～考え議論する道德授業～

**講 師**

岐阜大学大学院教育学研究科

准教授 柳沼 良太 氏

中央教育審議会道德教育専門部会委員

【講師紹介】

- 1969年 福島県生まれ
- 2000年 早稲田大学文学部助手
- 2002年 山形短期大学専任講師
- 2005年 「プラグマティズムの教育理論に関する研究 ―デューイからローティヘー―」で博士(文学)
- 2009年 岐阜大学大学院教育学研究科准教授
- 2016年 麗澤大学道德科学教育センター客員教授

【主な著書】

- 「実効性のある道德教育 ―日米比較から見えてくるもの―」
- 「問題解決的な学習で創る道德授業 超入門 ―「読む道德」から「考え、議論する道德へ」―
- 「アクティブ・ラーニングに対応した道德授業」 ほか多数

「特別の教科道德」が始まります。ぜひ「教育講演会」に御参加いただき、お一人お一人が抱える課題の解決に努めていただければと考えております。多数の皆様の御参加をお待ちしております。なお、申込みは、当研修センターあてFAX(0166-24-2512)でお願いします。

上川教育研修センター

研修センターのWebサイトを御利用ください！

<http://kami-cen.hs.plala.or.jp/>

今年度の講座一覧や要項・申込書等がダウンロードできます。また、過去に開催された講座の様子やセンターだよりのバックナンバーを見ることがもできます。さらに、センターで所蔵している資料を見ることができるので、お探しの資料があれば貸出することもできます。

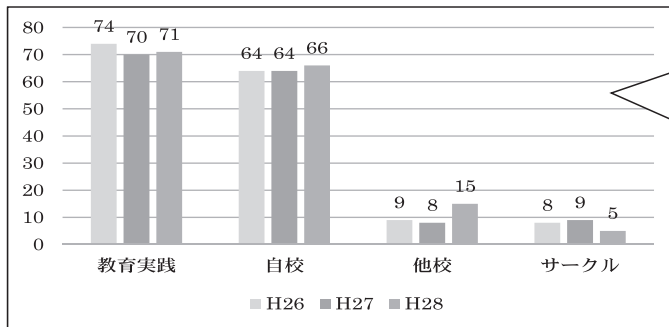
ぜひ、御活用ください。



平成 28 年度受講後アンケートの集計結果 ～御協力ありがとうございました～

当研修センターでは、研修講座の受講後 2～3 か月をめどに御回答いただく「受講後アンケート」を実施しております。お忙しい中にもかかわらず御協力をいただきまして、ありがとうございました。昨年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

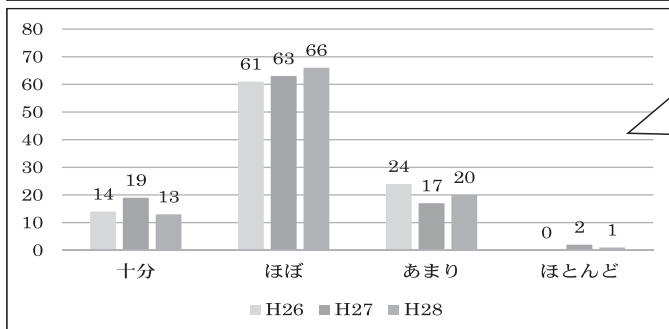
設問1 研修終了後、児童生徒や同僚教職員、他の学校の教職員等に研修成果の発信することができましたか。



平成 28 年度も、6 割～7 割の受講者に、研修の成果を日常の教育実践に生かしたり、自校の教職員へ情報を発信したりしていただいたことがわかりました。

今後も、研修の成果が受講者はもちろん広く教育現場に生かされるような講座をめざして一層努力してまいります。

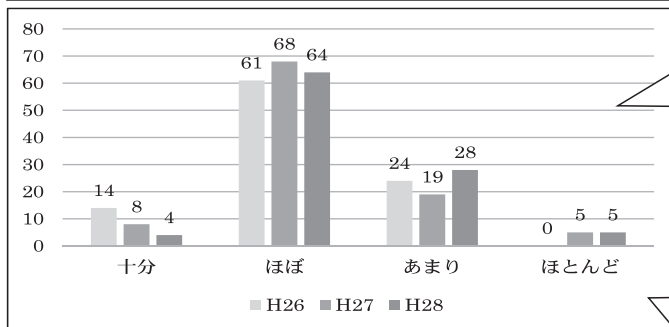
設問2 研修終了後、自校や校外研修会等で、研修内容を活用し、自己の指導内容や方法の工夫改善ができましたか。



「十分にできた」「ほぼできた」を合わせると、およそ 8 割の受講者から自己の指導内容や方法の工夫改善ができたという回答をいただきました。

授業形態や学習過程の工夫、児童の主体的な活動を促す指導など、具体的な工夫や改善策の記述が多数見られました。今後も日常の実践にすぐに生かすことができる講座内容となるよう努めてまいります。

設問3 研修内容を広げたり活用したりした結果、児童生徒や対象の教職員に効果や変容が見られましたか。



教職員間での共通理解の下、児童生徒の興味関心や学習意欲の向上につながった、校内研修や授業改善の一助となった、という内容の記述が見られました。今後も自他の効果的なかわりを見いだすことができる講座内容となるよう努めてまいります。

およそ 3 割の受講者から「あまり見られなかった」「ほとんど見られなかった」という回答をいただきました。

「変容を見るには、もう少し時間が必要」「情報の発信のみで、具体的な活動ができなかった」など、今後の継続的な取組に期待する記述が多く見られました。

本年度も「受講後アンケート」を実施いたします。受講後 2～3 か月をめどに、当研修センター Web サイト上で、御回答ください。パソコンはもちろん、タブレットや携帯端末からも御回答いただけます。
今年度も御協力をよろしくお願いいたします。

「出前講座」を御活用ください！

教科指導をはじめ、生徒指導・特別支援教育・今日的な教育課題・パソコン実技・各種実技指導など、各学校の校内研修や教育研究団体の様々なニーズに合わせて、選りすぐりの講師を派遣しています。ぜひ、御活用ください。

申込は、随時受付けております。「研修講座開催要項」P32 に掲載しております「出前講座申込書」に必要事項を御記入の上、直接当センターへ FAX で送付してください。

講座内容例

今日的な教育課題	学力向上、道徳教育、幼小連携、小中連携、キャリア教育など
教科等指導(国,算等)	指導計画、評価、言語活動等、校内研究にかかわる事項など
小学校外国語活動	様々なアクティビティ、ALT との効果的な指導の在り方など
各種実技指導	合唱(音楽)、毛筆(書写)、器械運動(体育)など
生徒指導	教育相談、構成的グループエンカウンター、ピアサポートなど
特別支援教育	各種発達障害の理解、個別の支援計画、交流および共同学習など
パソコン実技	表計算、画像処理、プレゼン、タブレット PC の活用など

心に残る授業

その⑦



旭川市教育委員会
教育指導課主査
常盤 慎一

授業前の期待に満ちた子どもたちの表情が曇ることなく、授業中の真剣な眼差し、そして、授業後の充実した表情に変わる。そのような算数・数学の授業を見させていただく機会が増えてきました。子どもたちが生き生きと学ぶ姿の裏には、当然、先生方の御努力があり、頭の下がる思いです。今回紹介させていた

だくのは、ある中学校の二年生「一次関数」の授業で、授業前の子どもたちの表情はお世辞にもよいとは言えず、参観する先生方が教室にいても、物怖じしない子どもたちが思い思いに行動している、そんな子どもたちとの出会いから始まりました。

授業が始まるとすぐに、先生は問題を板書します。基本料金三千五百円で一分毎の通話料が三十円のA社、基本料金二千円で一分毎の通話料が四十円のB社という情報を表に

示し、「どちらの携帯電話会社がお得か。」と問いかけ、補足説明しながら問題を把握させると、徐々に子どもたちの注目が先生に集まります。

最初は携帯電話に反応していた子どもたちが、あつという間に数学の世界に引き込まれ、「通話時間と料金の関係を調べよう」という課題から個人で考える頃には、ほぼ全員が表、式、グラフなどそれぞれの考えで解決に向かっていました。

子どもたちが全員で解決を図る場面では、表、式、グラフの考えについて理解するとともに、それぞれの考えのよさや関係性について、先生とのやりとりを通して理解を深めていきました。関数が苦手な子どもは、その多くが表、式、グラフを相互に関連付けて理解することができました。単元を通して、本時のように関係性を重視することが大切であると実感しました。

授業後の子どもたちは、一見すると授業前と同じ姿ではありましたが、授業終了の挨拶時の満足そうな子どもや先生の姿から、一時間の授業で成長した子どもたちを見ることができました。

人事短信

平成二十九年度就任・退任研修センター所員を紹介します。

新任

副所長



佐藤 保

管内教育の発展のため積極的に活用される研修センターとなるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

指導員



指導員（緑が丘中）佐藤 徳嗣

研修講座や出前講座が、皆様にとつて有意義な講座となるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

指導員



指導員（西神楽中）伊藤 健治

微力ではございますが、精一杯、有意義な講座になるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

研究員



研究員（北光小）望月 俊綱

管内の各学校や先生方に活用していただける研究を目指し、努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

研究員



研究員（比布中央小）田村 仁

上川管内の皆様に御活用いただける研究を目指し、精進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

退任

お世話になりました。

前所長

小谷 要次

前指導員

村田 靖彦

前指導員

佐々木 玲

前研究員

小田島 充彦

前研究員

竹中 一三

（旭川市立永山西小）

○研修センター所員

副所長

奥山ゆみ子

事務部長

佐藤 保

事務係

佐藤美恵子

事務係

小林 晴美

事務係

笹谷 青子

事務係

増子 淳一

指導員

三上 大輔

指導員

佐藤 徳嗣

指導員

伊藤 健治

指導員

石ケ森孝順

研究事業部長

川村 貴弘

研究員

齊藤 悦代

研究員

馬場 大輔

研究員

遠藤 聡志

研究員

望月 俊綱

研究員

田村 仁

発行日 平成二十九年七月三日
上川教育研修センター
〒〇七〇一〇〇三六
旭川市六条通四丁目
電話〇一六六二四二五〇一
奥山 ゆみ子
有限会社岡本印刷

責任者 印刷所
奥山 ゆみ子
有限会社岡本印刷

※この用紙は再生紙（古紙70％）を使用しています。